

「リスク・フリー・レートに関する勉強会」第13回議事要旨

(平成28年9月23日(金) 16時30分～17時10分、日本銀行本店会議室)

- 第12回議事要旨が承認され、日本銀行ホームページ上で公表することが承認された。
- 事務局から、リスク・フリー・レートに関する国際的な議論の動向についてアップデートが行われた。
- 事務局から、前回勉強会において検討された日本円と他通貨においてリスク・フリー・レートが無担保指標と有担保指標に分かれた場合のデリバティブ取引(通貨スワップ、金利スワップ)等における潜在的な論点について、その後も大きな懸念は示されなかったことが紹介された。これを受けて、日本円は無担保レートを、他通貨圏の検討体は有担保レートをリスク・フリー・レートとして特定したとしても、直ちに取引への影響が生じるとは考えられず、また必要があれば、有担保レート・無担保レートのベシス市場による対応が可能との意見集約が、勉強会としてなされた。
- 続いて、わが国のレポ指標構築に関する予備的な検討ワーキング・グループからの中間報告が行われ、レポ指標の案としては、①レファレンス方式、②ブローカー加重平均方式および③清算取引加重平均方式の3方式が考え得ること、また、レート算出にあたっては、債券の需給などの歪みをもたらす要素やCCP利用の動向、国債決済期間短縮化後の銘柄後決めGCレポの動向など、留意すべき点が多いことが示された。
- こうした報告を受け、議長より、次回勉強会までに開催を予定しているワーキング・グループの第2回会合においては、清算機関をオブザーバーとして招き、清算取引加重平均方式のレポ指標作成のフィージビリティ等について意見を求め、さらなる検討を行うことが提案された。
- 最後に、議長より、次回会合は10月下旬に開催し、前述のワーキング・グループからの最終報告を踏まえてレポ指標構築の予備的な検討について意見集約を行った上で、日本円リスク・フリー・レートの特定に向けて議論を進める予定であることが示された。

以 上

「リスク・フリー・レートに関する勉強会」第 13 回会合 参加者

(メンバー)

議 副	長 副 議 長	三 井 住 友 銀 行	桂 田 大 成
		野 村 證 券	橋 本 茂
		S M B C 日 興 証 券	尾 島 一 博
		S M B C 日 興 証 券	中 尾 司
		ゴールドマン・サックス証券	田 口 研 吾
		大 和 証 券	菊 池 拓 也
		野 村 證 券	櫻 井 祥 文
		バ ー ク レ イ ズ 証 券	浅 井 大 輔
		み ず ほ 銀 行	久 保 秀 樹
		み ず ほ 証 券	葛 西 弘 道
		三 井 住 友 銀 行	井 原 直 樹
		三 井 住 友 銀 行	嶋 忠 明
		三 菱 東 京 U F J 銀 行	根 木 信 和
		三菱UFJモルガン・スタンレー証券	青 木 康 人
		モルガン・スタンレーMUFG 証券	五十嵐 健 彦
		モルガン・スタンレーMUFG 証券	澤 田 淳
		ユービーエス・エイ・ジー	井 上 裕 嗣
		I S D A	有 馬 康 修
		I S D A	森 田 智 子
		全 国 銀 行 協 会	小 山 寛 隆
		全 国 銀 行 協 会	長谷川 哲 也
		日 本 証 券 業 協 会	武 田 創
		日 本 証 券 業 協 会	丸 野 雅 人

(オブザーバー)

金	融	庁	兼	高	淑	江
金	融	庁	白	澤	光	音
金	融	庁	丹	羽	啓	介
金	融	庁	宮	内	文	
金	融	庁	宮	地	光	一
日	本	銀	行	飯	島	浩 太
日	本	銀	行	清	水	茂

(敬称略)

以 上